

情報モラル教室を通して

～SNSやインターネットの使用方法について～

近年、SNSやインターネット上への書き込みをはじめ、写真・動画撮影機能を使って写した画像や動画を許可なく投稿されたり、個人情報を開かれたりするなどの被害が発生しており、被害者の悲痛な叫びが多く聞かれるようになりました。

鴨川中学校でも、今年度になり、LINEやX、InstagramなどのSNSによるトラブルで心を痛める事例が起っています。また、深夜のインターネットやゲーム利用によって、生活リズムが乱れてしまい、生活面・健康面に悪い影響が出るケースも見られます。

そこで、愛媛県警察少年サポートセンターから講師の方をお呼びし、SNSやインターネットの情報の扱い方について話をいただきました。実際に事例を踏まえてなぜいけないのかを丁寧に教えていただきました。また、一人一人が安心できる社会にするために、3つの境界線（物理的境界線・心理的境界線・社会的境界線）をしっかりと意識することの大切さを教えていただきました。

御家庭でもスマートフォンやインターネットの利用について振り返る機会を設けていただき、お子様とルールを再確認していただきますようお願い申し上げます。

【やってはいけないことの例】

- ・他人の写真を無断投稿・加工
- ・施設への迷惑行為の撮影
- ・脅迫めいた投稿
- ・闇バイト
- ・悪口などの誹謗中傷
- ・なりすまし
- ・個人情報の投稿

などその他にもたくさんの自分や周りの人を傷つけるトラブルがあります。

○生徒の感想

・スマートフォンは正しい使い方ができるようになるまでいらないと思いました。自分の思ったようにすることで最悪な結果を招き、将来親やいろいろな人に迷惑をかけることを実感しました。また、自分がされて嫌なことはしないことを大切にしたいと思います。（2年）

・今回の話を聞いて、改めてSNSの使い方について考え直さなければいけないと思いました。今の時代は昔に比べて画像の行きわたりが早く自分のやったことを取り消すことができないデジタルタトゥーになることが多い時代だと思います。自分が普段から気を付けることが大切であると実感しました。（3年）